

「久御山町まちのにお構想」に向けた
官民連携手法の導入調査

報 告 書

令和2年3月

久御山町

有限会社ハートビートプラン

目次（案）

1. 本調査の概要.....	1
1-1. 調査の目的	1
1-2. 自治体の概要.....	1
1-3. 事業発案に至った経緯・課題	1
①自治体が抱えている課題	1
②上位計画との関連性	1
③上記課題への対策としてこれまで実施している施策や調査等.....	1
④当該事業の発案経緯	1
⑤当該事業の必要性.....	2
1-4. 検討体制の整備	3
①プロジェクト推進体制の構築.....	3
2. 本調査の流れ.....	4
3. 前提条件の整理	5
3-1. 対象施設及び対象地の概要①（久御山中央公園）	5
①対象施設の状況.....	5
②対象地の状況	7
3-2. 対象施設及び対象地の概要②（クロスピア）	8
①対象施設の状況.....	8
②対象地の状況	10
4. プロジェクトビジョン（仮説）の設定.....	11
4-1. 目指す町の将来像	11
4-2. プロジェクトビジョン仮説.....	12
4-3. 関係各所へのヒアリング	13
①工業関係者に対するヒアリング	13
②農業関係者に対するヒアリング	14
4-4. プロジェクトビジョン（仮説）の構築.....	15
①仮説の絞り込み.....	15
②プロジェクトビジョン（仮説）の構築	16
③プロジェクトのステップ	18
5. 実証実験の実施	19
5-1. 実証実験の全体像	19
5-2. プレ実証実験.....	20
①実験概要	20
②アンケート結果.....	21
5-3. フードトラック実証実験	26

①実験概要	26
②実施結果	33
③まとめ	38
5-4. 久御山中央公園活用実証実験	40
①実験概要	40
②実施結果	44
③まとめ	53
5-5. クロスピア予備調査	55
①概要	55
②実施結果	55
③まとめ	59
6. 検討の方向性整理	60
6-1. プロジェクトビジョン	60
6-2. 必要な機能・コンテンツ等の検討	62
6-3. 施設配置計画	63
①施設整備の考え方	63
②配置パターンの検討	64
7. 新事業のあり方とその収益性	66
7-1. 現状把握	66
①現在の事業内容	66
②現事業の収支	67
7-2. 新事業で想定されている事業内容	68
①新事業の事業内容	68
②新事業の個別収支	70
7-3. 新事業のスキーム	73
7-4. 新事業実施による公費負担軽減効果	75
7-5. 新事業実施にあたり別途必要となる事前整備	76
7-6. 収益性の改善	76
8. 今後の進め方	77
8-1. 今年度の成果と今後の検討内容	77
①久御山中央公園	77
②クロスピア	78
8-2. ロードマップ	79
8-3. まちづくりマニュアルの策定	80

1. 本調査の概要

1-1. 調査の目的

久御山町では久御山中央公園の改修と合わせて、「久御山中央公園」と「まちの駅クロスピアくみやま」（以下クロスピア）という2つの公共施設を中心に官民連携手法を用いた包括的な管理（久御山まちのにわ構想）を検討しており、その実現性を検証する。

1-2. 自治体の概要

久御山町は京都府南部に位置する 13.86k m²の小規模自治体であり、ものづくりを中心とする中小企業が集積し、昼/夜間人口比が 1.77 倍（全国 3 位）と高い産業集積地でありながら、「住」「農」ともバランスのとれたユニークな町勢となっている。

1-3. 事業発案に至った経緯・課題

①自治体が抱えている課題

農業は若手農家が京野菜を中心に規模拡大しているが、農業の販売力やブランドの発信力が弱い。一方、工業地域では景気が回復基調のため、求人倍率は7倍を超える状態である。しかし、工業地域内には飲食店がほぼなく、食の提供環境を改善しなければ、人材確保がおぼつかない。また、地域の連帯感の希薄化により、住環境の不満が生まれ、地域に愛着が持てないため、転出が増加している。

②上位計画との関連性

久御山町第5次総合計画 … 久御山中央公園の機能充実、クロスピアを主体とした地域活性化の推進を計画し、魅力と個性にあふれた強い産業を育むこととしている。

久御山町公共施設等総合管理計画 … 民間活力の導入、新たな財源の確保を検討することとしている。

③上記課題への対策としてこれまで実施している施策や調査等

H27 年 ものづくりの苗処をコンセプトとした産業振興計画の策定

H28 年 第5次総合計画により久御山中央公園の充実、機能改修を計画

H29 年 久御山中央公園のあり方を検討

H30 年 京都大学と協働し検討、「久御山まちのにわ構想」を策定

R 元年 「久御山まちのにわ構想」を踏まえ、有識者をはじめとした官民学の関係機関からなる「久御山町まちのにわ構想推進プロジェクト」を設立

④当該事業の発案経緯

当該事業の核となる公共施設で、久御山中央公園はオープンから約40年が経過し、機能充実、施設改修を求められており、また、クロスピアは産業の情報発信、交流拠点としての機

能の強化が求められている中で、平成 30 年度に公共施設整備活用について、京都大学と協働し「久御山まちのにわ構想」を策定したことによる。

⑤当該事業の必要性

町の資源である「農業」や「工業」にそれぞれの強みはあるものの、お互いの連携や補完ができていない。官民連携手法や公共施設を用いてそれらを有機的に結びつけることで、有効に資源を活用できる。

1-4. 検討体制の整備

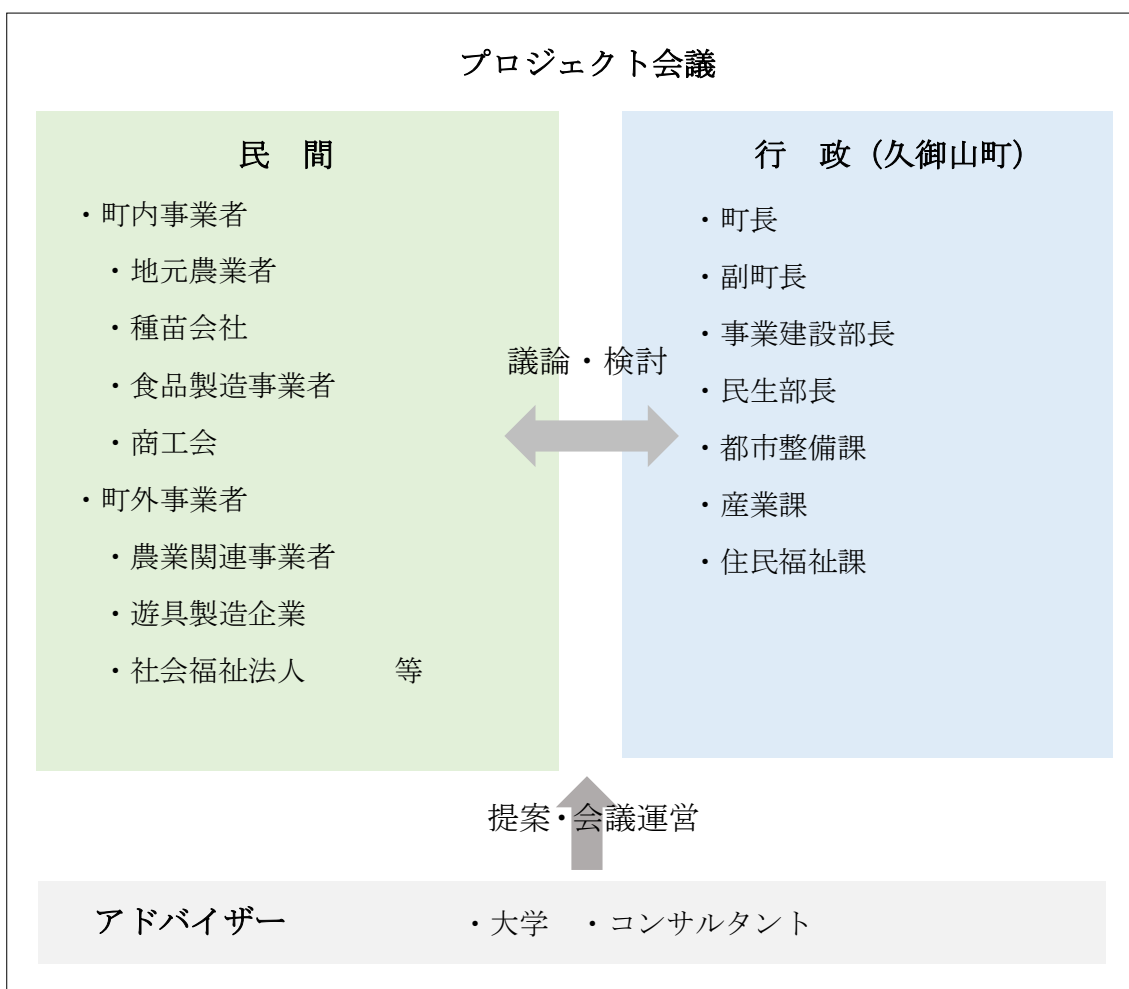
①プロジェクト推進体制の構築

久御山まちのにわ構想の推進に当たっては、久御山町長を議長とする「久御山町まちのにわ構想推進プロジェクト会議」（以下、「プロジェクト会議」と言う。）を設置した。

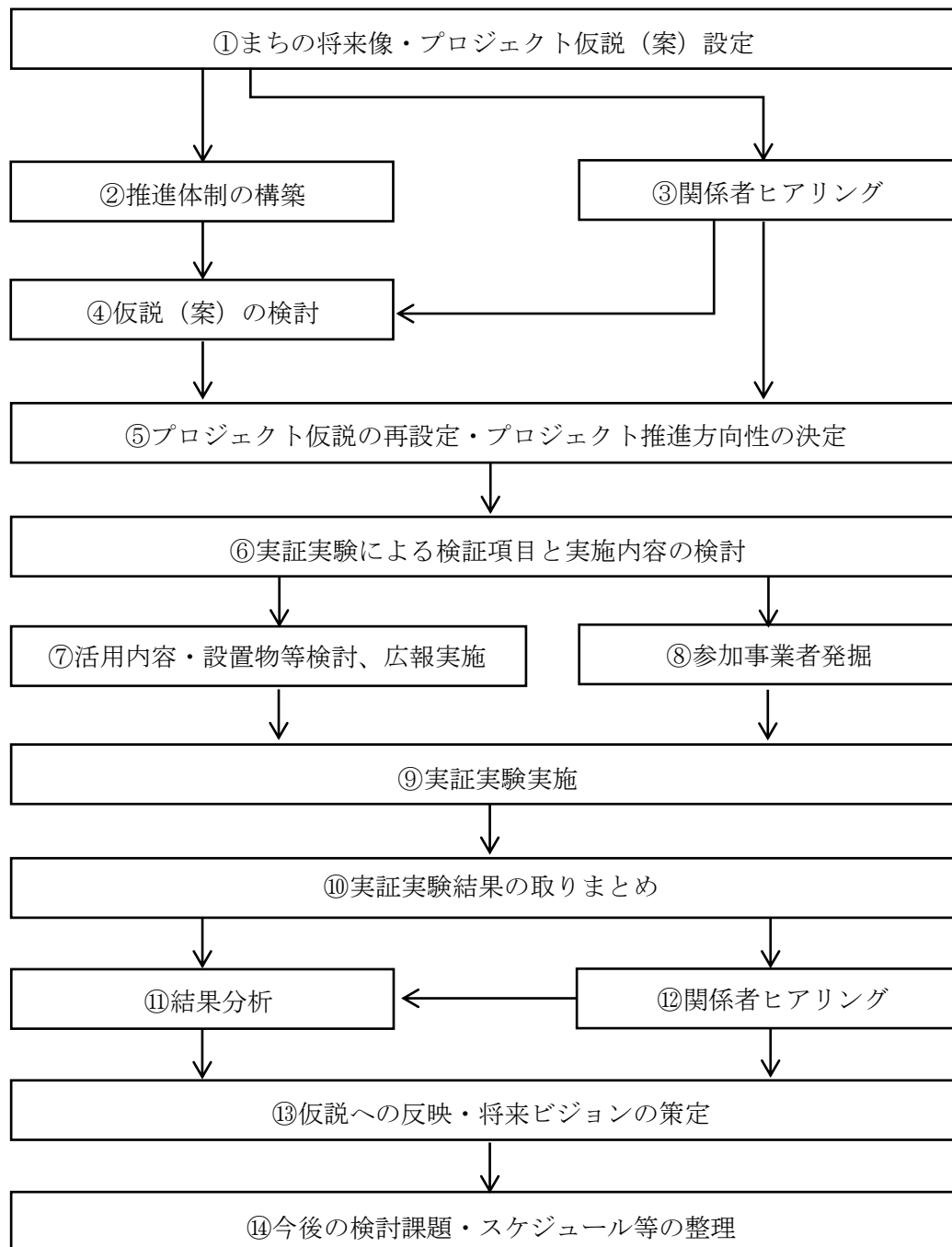
プロジェクト会議は、本プロジェクトの目標である「産業の持続性向上」と「定住人口の増加」に向け、官民が課題を共有しながら具体的な議論ができるような体制とした。具体的には、民間からは、商工会とともに、町の特徴である「農」「工」「福」の事業者が直接議論に参加する体制とし、また、行政も施設整備等に直接関わる都市整備部局、産業部局だけでなく、福祉関係部局からも参加した横断的な体制で事務局を構成することとした。

また、個別の事業の企画・推進においては、プロジェクト会議だけでなく個別ヒアリングを行い、検討を重ねた。

【プロジェクト推進体制】



2. 本調査の流れ



3. 前提条件の整理

3-1. 対象施設及び対象地の概要①（久御山中央公園）

①対象施設の状況

【施設概要】

諸元：全面積 25,136.5 m²、昭和 53 年 3 月供用開始
 主要施設：野球場 約 12,100 m²、屋根付きゲートボール場、グラウンドゴルフ場、
 テニスコート、児童広場、幼児広場、庭園、時計台、噴水（設備故障中）
 駐車場：31 台分+37 台分（借地）

※有料施設の年間使用人数

	使用団体数	使用人数	稼働率	使用人数（日あたり）
野球場	812 団体	35,659 人	49.6%	98 人
庭球場	2,875 団体	17,169 人	64.0%	47 人
合計	3,687 団体	52,828 人	-	145 人

※雨天等のキャンセルは稼働率にのみ反映されている

（H29 年度久御山町文化スポーツ事業団年間報告書）

※使用時間帯については集計資料なし

※維持管理費（平成 29 年度）

費目	金額（千円）
光熱水費	2,715
修繕料	76
維持管理委託料	6,599
電気保守	194
駐車場借地料	3,468
指定管理料	2,730
合計	15,785

【現況施設の利用上の課題と要検討項目】

- ・野球場とテニスコートはよく利用されており、運動公園としての機能を十分に果たしている。一方、久御山中央公園北側の噴水の周囲の広場・庭園部分はあまり利用されていない。特に、噴水や流路の設備は故障しており機能しておらず、維持管理の方法も含めて、公園における位置づけの再検討が求められる。
- ・「公園に関するアンケート」から、町民が公園に求めるものは、ゆっくり過ごせる場所、人が集まる憩いの交流拠点であることが分かる。また、ゆっくり散歩できる場所や、幼児・児童が遊べる場所、喫茶・食事が楽しめる場所への町民のニーズも大きい。これに対し、現況の久御山中央公園は、スポーツ以外の交流拠点としての機能が不十分であり、また、ゆっくりと休めるような町民の憩いの場としての役割も果たせていない。憩いの場や、交流・にぎわいの場としての町民のニーズに応える施設整備のあり

方について検討する必要がある。

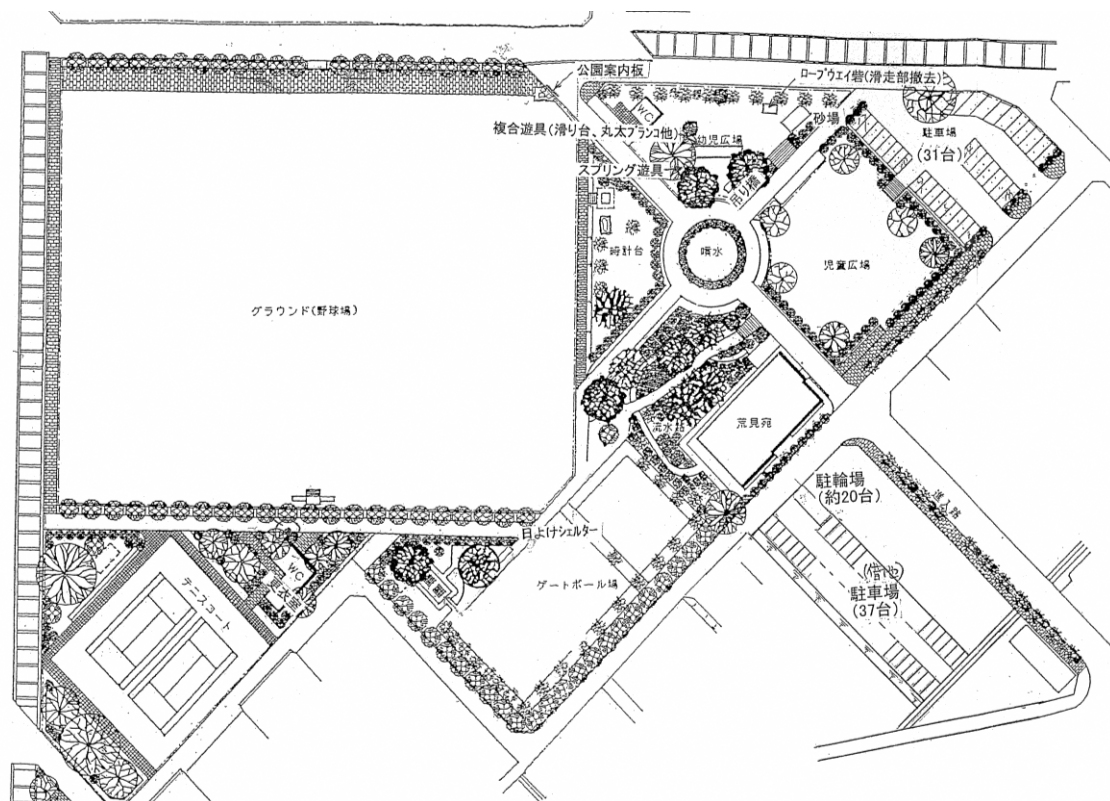
- ・久御山中央公園北側については、4つの区画に区分されており、利用しづらい状況となっている。具体的には、利用されない区画があること、相互のアクセス性が悪いこと、生け垣等により見通しが悪く死角も多いこと、などが問題として挙げられる。公園の有効活用のためには、抜本的な改善が必要である。

【運営上の課題と要検討項目】

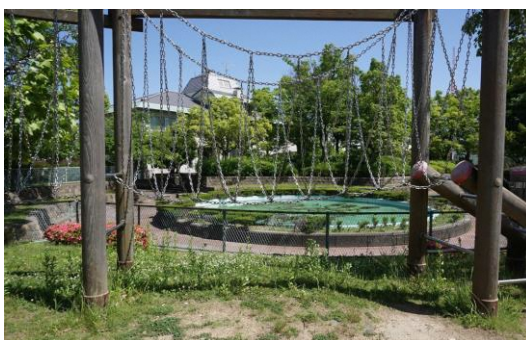
- ・都市公園法の改正により公募設置管理制度（Park-PFI）が創設され、民間活力を活用した都市公園の整備・管理の可能性が広がっている。久御山町においても、民間事業者との連携による都市公園の魅力によるストック効果の向上や、民間資金の活用による公園管理者の財政負担の軽減の方策を検討することが望まれる。
- ・先行事例11からは、都市公園における飲食店の設置の効果として、賑わいの創出、憩いの場の創出、利用者層の拡大、利便性の向上、周辺地域の活性化、交流の場の創出などの効果が報告されている。また、管理運営者の選定においては、コンセプトとの合致、施設の外観やデザイン、民間事業者の実績やサービス提供能力などが重視されている。
- ・都市公園における民間事業者との連携の先行事例は、採算性が見込める大規模施設の運営や、大都市のきわめて集客力のある場所に立地する飲食・物販等の収益施設の運営が中心である。久御山中央公園は、先行事例に対して、規模の面でも集客ポテンシャルの面でも条件が厳しく、収益事業スキームに工夫が求められる。また、事業性の確保のため、駐車場や施設整備のための公園用地の拡張や、荒見苑との一体的活用などの周辺の施設との連携についても検討する必要がある。

②対象地の状況

【現況平面図】



【現況写真】



3-2. 対象施設及び対象地の概要②（クロスピア）

①対象施設の状況

【施設概要】

諸元：敷地面積 4,317.94 m²（延べ床 895.39 m²）、平成 22 年 4 月開設

主要施設：1 階 待合、販売コーナー、展示ブース、特産品加工室 2 室（パンなど）

2 階 有料交流室 2 室、ものづくりサロン、展示/産業情報ブース

無料駐車場：普通車 23 台、駐輪場 60 台

【現況施設の利用上の課題と要検討項目】

- ・平成 22 年 4 月に開設。平成 23 年 3 月に運営協議会が設置され、運営協議会ならびに専門部会により運営されている。専門部会は、現在ではまち案内・特産品販売部会と企業部会に統合されている。
- ・入館者（1 日当たり）は、平日約 190 人、休日約 290 人である。
2 階の利用者は、平日・土日平均 14 人である。
- ・クロスピア市は現在、年 4 回開催している。
※クロスピア市とは、クロスピアくみやまの認知度向上と交流人口の拡大を目的に季節ごとにテーマを決めて年 4 回実施。ステージライブや模擬店など、大人も子供も楽しめるイベント。
- ・販売コーナーは久御山町農産物直売所によって運営されている。年間の売上合計は約 1,300 万円であり、事業・サービスの競争力に課題がある。クロスピアとしての収入は、施設使用料とレンタサイクル利用料等であり、大きな収入源にはなっていない。
- ・農商工業の産業情報、観光情報の発信の役割は、常設の展示ブースが担っている。展示による情報発信、交流促進の方法には課題が残る。

【運営上の課題と要検討項目】

○施設の有効活用

- ・施設の目的である「農商工業の情報発信」と「まちの駅としての交流拠点」としての役割を十分に果たすための有効な方策を検討する必要がある。具体的には、利用者や町民をはじめ多くの人の目や耳に触れる認知度の向上や、「働きたい、暮らしたい」というブランドの強化・確立、これらによるビジネス機会の増大や人材の確保、交流・定住人口の増加を戦略的に推進する必要がある。
- ・上記を達成するためには、第一に、拠点施設としてより多くの人に利用されることが重要であり、利用促進のためのプログラムの再検討が必要である。また、常設展示による情報発信は PR 力に乏しく、体験を含むより訴求力のあるプログラムとして、農と連携した飲食や購買に関わるプログラムや、工業と連携したビジネスに関わる技術の獲得やアイデアの交流に関わるプログラムの検討が望まれる。

- ・一過性のイベントではなく、プログラムの継続的な実施のためには、ビジネスモデルの検討が不可欠となる。収益（収入）を生み出すフレームワーク（事業）自体をつくり出すことを検討する必要がある。

○収益事業の展開

- ・クロスピア 1 階については、2 つの調理室を最大限活用し、競争力のある民間事業者の参入も視野に入れつつ、地域の魅力・産業の発信と、待合場所と、競争力のある飲食・販売サービスを兼ねるような一体的な利用を検討する必要がある。
- ・クロスピア 2 階の交流室やロビーについては、産業振興を促進するプログラムの充実と、より多くの利用を促す方策を検討する必要がある。産業人材の育成のための IT 教室やプログラミング教室として活用するなど、民間事業者と連携した活用方策も考えられる。

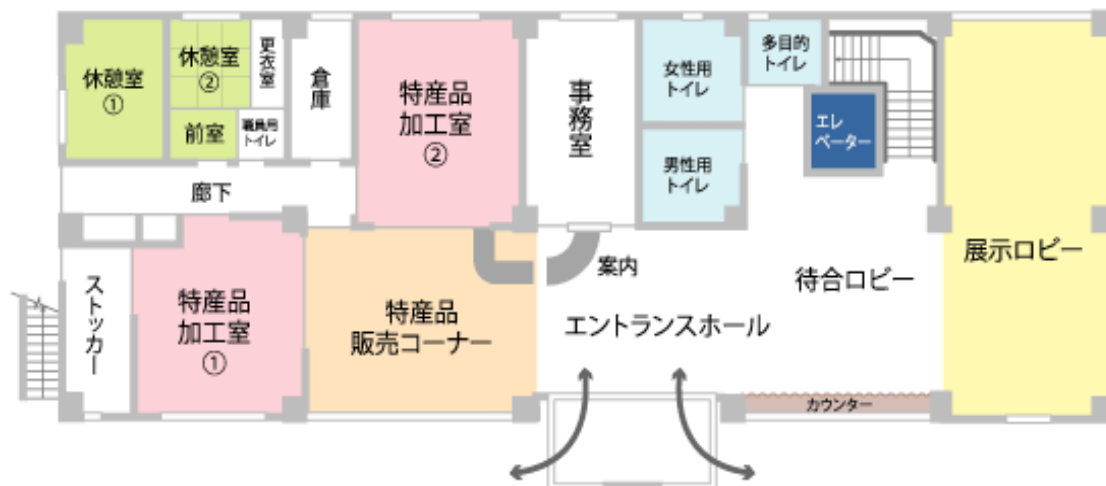
○管理運営の仕組み

- ・産業の情報発信と交流の拠点としての有効な利用、とりわけ利用者数の向上とプログラムの充実を図るために、民間事業者のノウハウや技術力、創意工夫の活用を視野に入れて、管理運営の仕組みを検討する必要がある。
- ・運営管理の効率化を図るためには、ランニングコスト抑制を行うとともに、収入の増加を図る事が不可欠であり、事業規模の拡大等の方策を検討する必要がある。ただし、クロスピアの延床面積は約 900 m²にとどまり、施設単体での収入増には限界があるため、より規模の大きい事業実施のためには、複数の施設（久御山中央公園や荒見苑、公民館、ふれあい交流館など）や複数の事業との連携を検討することが必要となる。また、施設の大規模改修やリニューアルも視野に入れる必要がある。
- ・収入の増加方策を含めた施設の有効活用のために、指定管理者制度の導入などの仕組みを検討する必要がある。

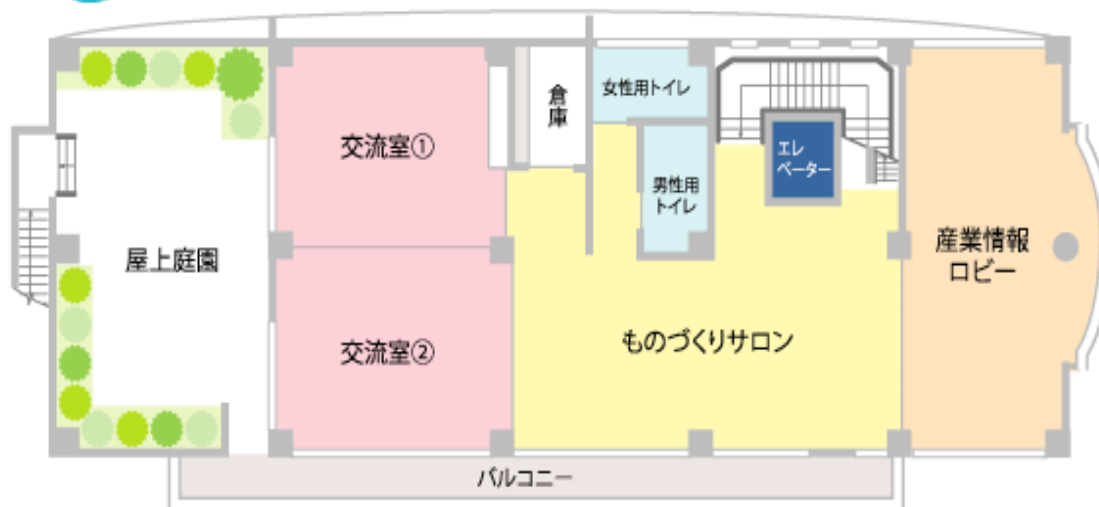
②対象地の状況

■フロアマップ

1F



2F



4. プロジェクトビジョン（仮説）の設定

4-1. 目指す町の将来像

久御山まちなにわ構想に基づき、具体的な取組を検討するため、町内の民間事業者、特に農業及び工業の関係者に対し、事業環境や生活環境を中心にヒアリングを行い、得られた課題を踏まえ、「工」「農」「住」において共有する将来像を設定した。

具体的には、以下の将来像を共有し、久御山まちなにわ構想を通じて実現することにより、産業の持続性の向上と定住人口の増加をさせることによって、「健全で持続可能な自治体経営」を目指す。

【目指すまちなの将来像（長期目標）】

「工」：就業環境（創業環境）が整った新時代の選ばれる工業地帯であること

- ・ 既存企業の就業環境が向上し、従業員の満足度が向上すること
- ・ 快適な就業環境により久御山町の企業への就職希望者が増加すること
- ・ 業務以外のレクリエーションや福利厚生によって従業員の生活の質自体が向上すること

「農」：高いブランド力により高単価で取引される農産物と地域の暮らしと連携した力強い農業

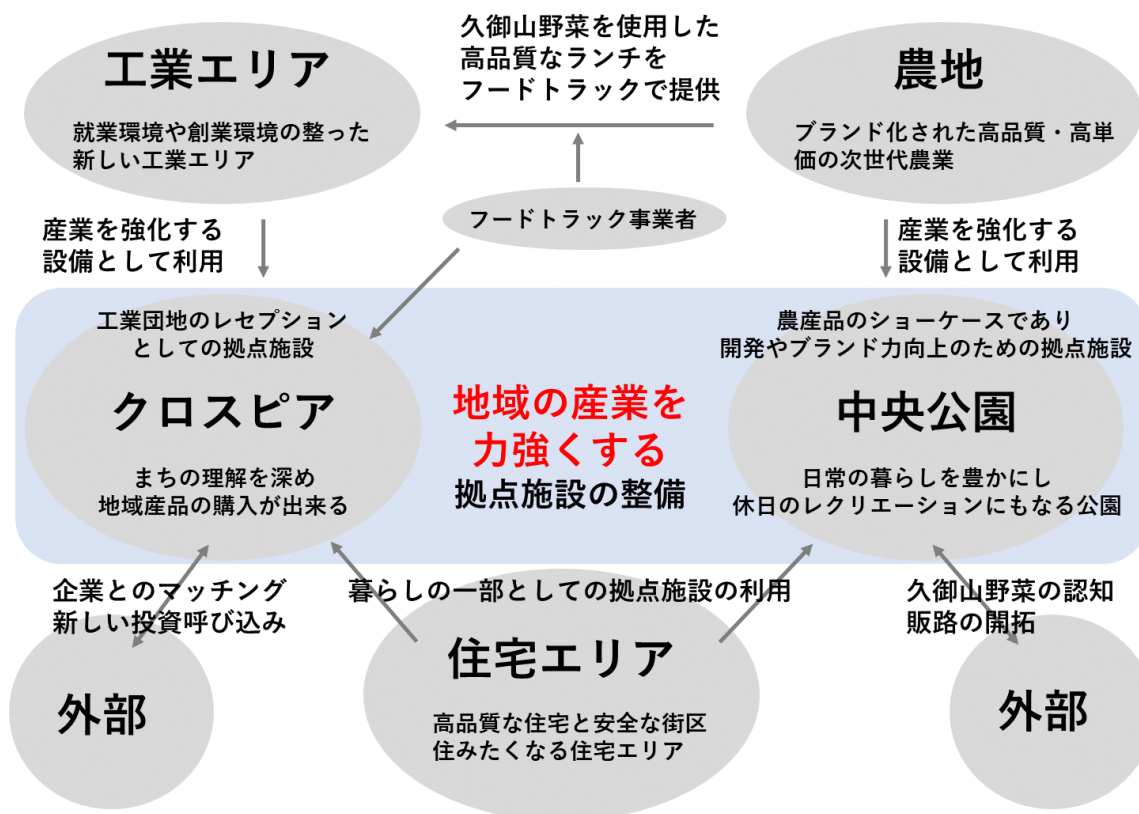
- ・ 久御山野菜の認知が向上し、ブランド力を持つことで販路が拡大すること
- ・ 単価が上がることにより高効率で持続的な産業となること
- ・ 地域住民の暮らしと関わることで、町への愛着や誇りにつながること

「住」：高性能の住宅と生活環境が整った職住近接の豊かな暮らし

- ・ 高性能、高品質な住宅の供給により快適な居住環境が整っていること
- ・ 日常生活に彩りを与える豊かな公共空間や遊びの場があること
- ・ 住み続けたいと思う愛着が生まれる環境であること

4-2. プロジェクトビジョン仮説

【プロジェクトビジョン仮説（当初案）】



当初の仮説では、クロスピアと久御山中央公園を地域の産業を強くするための拠点施設として位置づけた。クロスピアは工業エリアのレセプションとして、企業マッチングや地元企業の情報を提供する機能を、久御山中央公園は地元農業を認知・販路を拡大させるための場として、久御山で育てられている野菜をショーケース的に見せる農園や、農業者と企業などにより開発・研究などを行う機能を有する町内・町外の接点となる場所として整備することとした。

また久御山に住まう人にとってはそれぞれを生活の一部として利用する場所として位置づけ、地元産品の購入やレクリエーションの場としての利用を想定した。

4-3. 関係各所へのヒアリング

①工業関係者に対するヒアリング

将来像の実現に向け、仮説を元に、現状の課題や地域の産業を強くする拠点整備の必要性や在り方、久御山中央公園の活用可能性、また、工業と農業の連携での課題解決の方策としてのフードトラック事業の実現可能性等について、町内の 13 事業者を対象にヒアリングを実施した。

■ヒアリング結果概要

【現状の課題等】

- ・交通環境が一番の課題である
- ・鉄道駅が無いことと、東西方向の道路の渋滞が激しく、駅からのバスが渋滞することで通勤環境が悪い
- ・自家用車での通勤も空いている土地が少なく、駐車場用地の確保が難しいため、従業員の募集でもネックとなっている
- ・営業立地としてはどこへでも行きやすく利便性が高い

【食環境】

- ・工業専用地域であり周辺に飲食店が無い
- ・店のあるロードサイドはラーメン店やコンビニなどが多く選択肢が少ない
- ・昼食の時間も短い傾向にあり、わざわざ買いに行くとロスが大きい
- ・多くの企業でお弁当を手配しており、価格帯は補助も含めると 200-300 円台が多い
- ・内容に不満もあるが価格と利便性で選択する人が多い

【フードトラックについて】

- ・フードトラックでの昼食はワンコインまでなら購入可能性がある
- ・一方、ある程度以上の事業規模の企業では週 1 回程度であれば 600-800 円という価格帯でも需要がある

【久御山中央公園について】

- ・企業レクリエーションとしてレストラン等を活用する可能性は少ない
- ・休日などに家族連れで使える公園が少ないので、公園としての機能の充実を求めている

【クロスピアについて】

- ・セミナーや採用では利用するという声もあるが、利用頻度は高くない
- ・現状の使い方は中途半端になっている
- ・今の使い方とは異なる使い方を考えるべきである

②農業関係者に対するヒアリング

将来像の実現に向け、仮説を元に現状の課題や地元農業と拠点でのコンテンツとの連動可能性、農作物のブランディング、フードトラックやその他飲食への農作物の提供等について、町内の3事業者を対象にヒアリングを実施した。

■農業関係者に対するヒアリング結果概要

【課題】

- ・気候の問題、人の問題、売り先の問題など課題は色々ある
- ・昔は市場に持っていけばよかったが今はそうではない、今は自分たちでの営業が多い
- ・若い人もいるが、耕作放棄地も増えてきており、農家が減っていくのは時間の問題だと思っている
- ・小さい農家が多く、大規模にやっているのは全体の5%程度しかいない
- ・売り先と人と生産量のバランスを見ないといけない

【農業のブランディングについて】

- ・久御山で作られていることの認知度をしっかり上げていかないといけない
- ・そもそも京野菜自体も認知はされているが食べられていないのが現状となっている
- ・ブランディングして単価が上がっても、その価格である程度の量が捌ける卸先が重要である

【経営について】

- ・産地自体でレベルアップしていくことが重要だと考えている
- ・見積書をしっかり作って販売できるような経営が必要になっている
- ・今は行き当たりばったりの経営では立ち行かなくなっている

【久御山中央公園に関して】

- ・直接的な利益を求める場所ではない、それを求めると小さいものになる
- ・久御山中央公園を発信地として活用し、将来的・長期的な利益につなげていく
- ・実験圃場として使うのは、規模感や手の入れ方を考えると難しい
- ・カフェやレストランに農関連のプログラムなどを掛け算していく
- ・農業体験などのプログラムに参画していくことは可能である
- ・まず公園としてみて、行きたいと思う場所になることが重要である

4-4. プロジェクトビジョン（仮説）の構築

①仮説の絞り込み

工業関係者からのヒアリングにより、工業専用地域で操業環境が保全されている点が事業における大きなアドバンテージとして明確になったものの、事業者が挙げる課題は通勤アクセスを中心とするものであった。このため、当初、仮説に掲げた農との連携による工業振興や従業員等の居住環境の向上については、直接的なニーズが十分には確認できなかったが、フードトラック事業については、一定の需要が見込める可能性を見出すことができた。また、農業関係者からのヒアリングにより、農業そのものに対する課題とともに、体験プログラムの提供などにより久御山中央公園を活用することに対する前向きな姿勢が確認できた。

一方、現状において町の遊休施設等を活用する可能性のある事業者が多く想定されない状況も踏まえ、まずは検討対象施設を絞り込み、事業を担う可能性のある主体と課題を共有しながら検証を重ねる必要性も明らかになった。

【絞り込みの方針】

（１）久御山中央公園への絞り込みとクロスピアの現状把握調査の実施

→工業エリアの課題は通勤アクセスが中心となっており、工業の産業強化としてのクロスピア活用は見えにくい状況にある。またフードトラック事業でのキッチン利用も事業的に難があるため、当面は久御山中央公園の再整備に絞り込み、検証は行い、クロスピアについては、先ず現状の活用状況や施設に対するアンケート調査を行い、状況を把握する。

（２）久御山中央公園と連動したフードトラック事業

→フードトラックによるランチ営業は現時点では、それ単独で事業が成り立つ需要は見込めていないため、久御山中央公園での飲食事業と付随したものと想定し、実証実験を行う。今後需要が見込める可能性が出てきた場合は再度事業検討を行う。

（３）住民のホスピタリティとしての公園

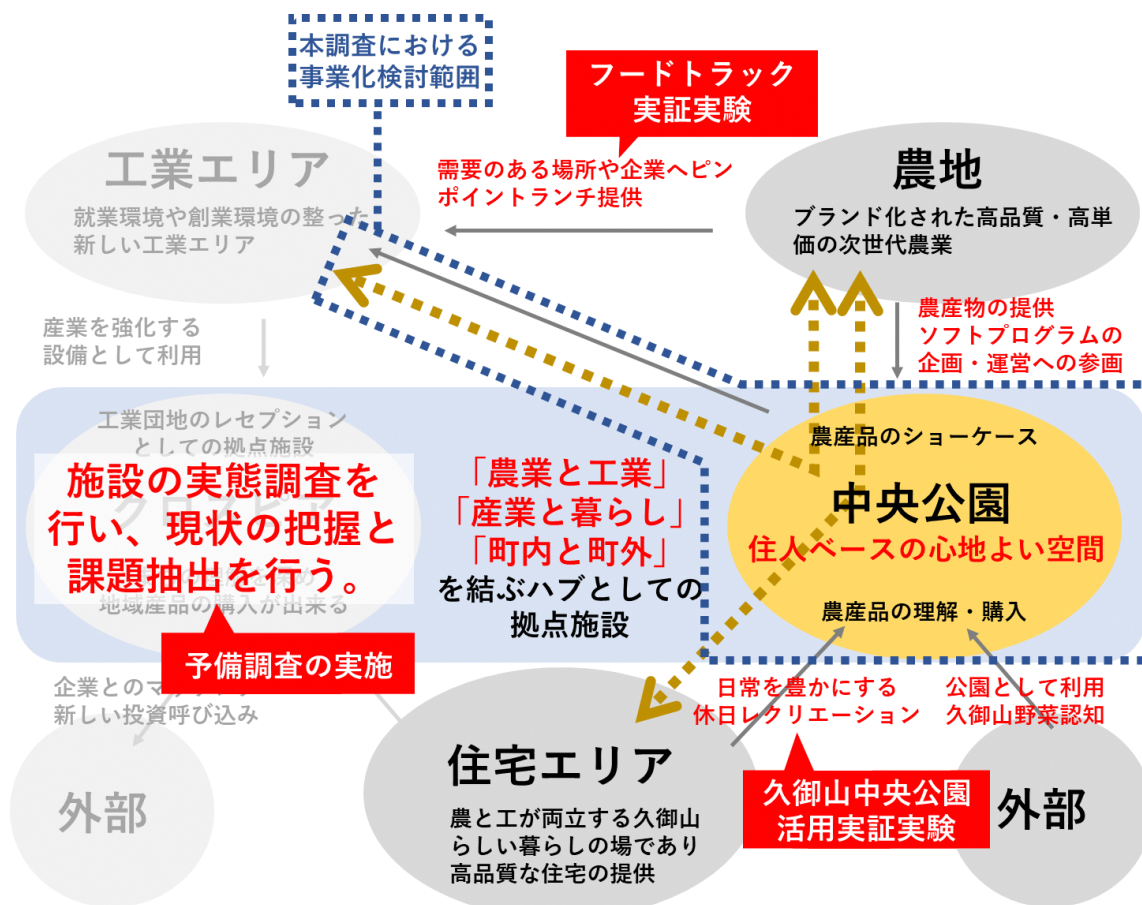
→ヒアリング結果から公園と産業（特に工業）との直接的な結びつきは想定せず、住民の暮らし向上のためのホスピタリティとしての公園を第一とする。

（４）地元農業及び食施策との連携方法の模索

→地元産の野菜を活かす、料理人などと連携した食コンテンツや、農業体験などの学びのコンテンツをソフトプログラムとして掛け合わせることで、公園の特色やここにしかない価値を構築していく。

②プロジェクトビジョン（仮説）の構築

【プロジェクトビジョン仮説（修正案）】



当初の仮説の産業を強くする拠点から、農業と工業、産業と暮らし、町内と町外を結ぶハブとしての拠点としてクロスピアと久御山中央公園の位置づけを再設定。久御山中央公園の検討を先行して進め、クロスピアは、今年度は利用実態の調査を行い、現状の把握と課題抽出を行う。

久御山中央公園は産業強化ではなく、住民のための居心地の良い空間となることを前提として、そこに農産物の認知や購入の機能を付与する。

またフードトラックの事業性を検証することにより、「農業と工業」を結ぶハブの構築可能性を検討すること（フードトラック実証実験）、農や工のプログラムを企画しながら活用することにより、久御山中央公園を久御山町ならではの「産業と暮らし」をつなぐハブとする可能性を検討すること（久御山中央公園活用実証実験）により、ビジョンの検証を行う。

それらを元に本調査では、久御山中央公園及び、久御山中央公園を拠点としたフードトラックの事業化の検討を行う。

【久御山中央公園のあり方・機能のイメージ】

久御山中央公園が、住民の日々の暮らしを豊かにするコンテンツが展開されるホスピタリティの場であるとともに、久御山野菜のショーケース兼販路拡大の場及び工業エリアへの食提供の拠点となることを目指す。

■久御山中央公園運営に必要な機能の整理

- ・久御山野菜のショーケース的農園の運営
- ・町内外の人が訪れる魅力的なカフェ・レストランの運営
- ・遊びや企業レクリエーションにも使えるバーベキューサイトや公園施設
- ・販路拡大やイベント開催のためのプロ仕様のキッチン設備
- ・新しい品種の開発や農家間連携のためのディスカッションスペース
- ・農業体験、料理教室など体験型のコンテンツを実施するスクールスペース

■使われ方のイメージ

（１）久御山産品情報発信機能として

- ・プロ仕様キッチンを使用した新商品や旬の野菜を使用した、卸先向けの試作調理
- ・農園での久御山野菜の紹介
- ・新品種開発や農家同士の情報交換
- ・久御山産の農産物の販売

（２）住民向けホスピタリティ機能として

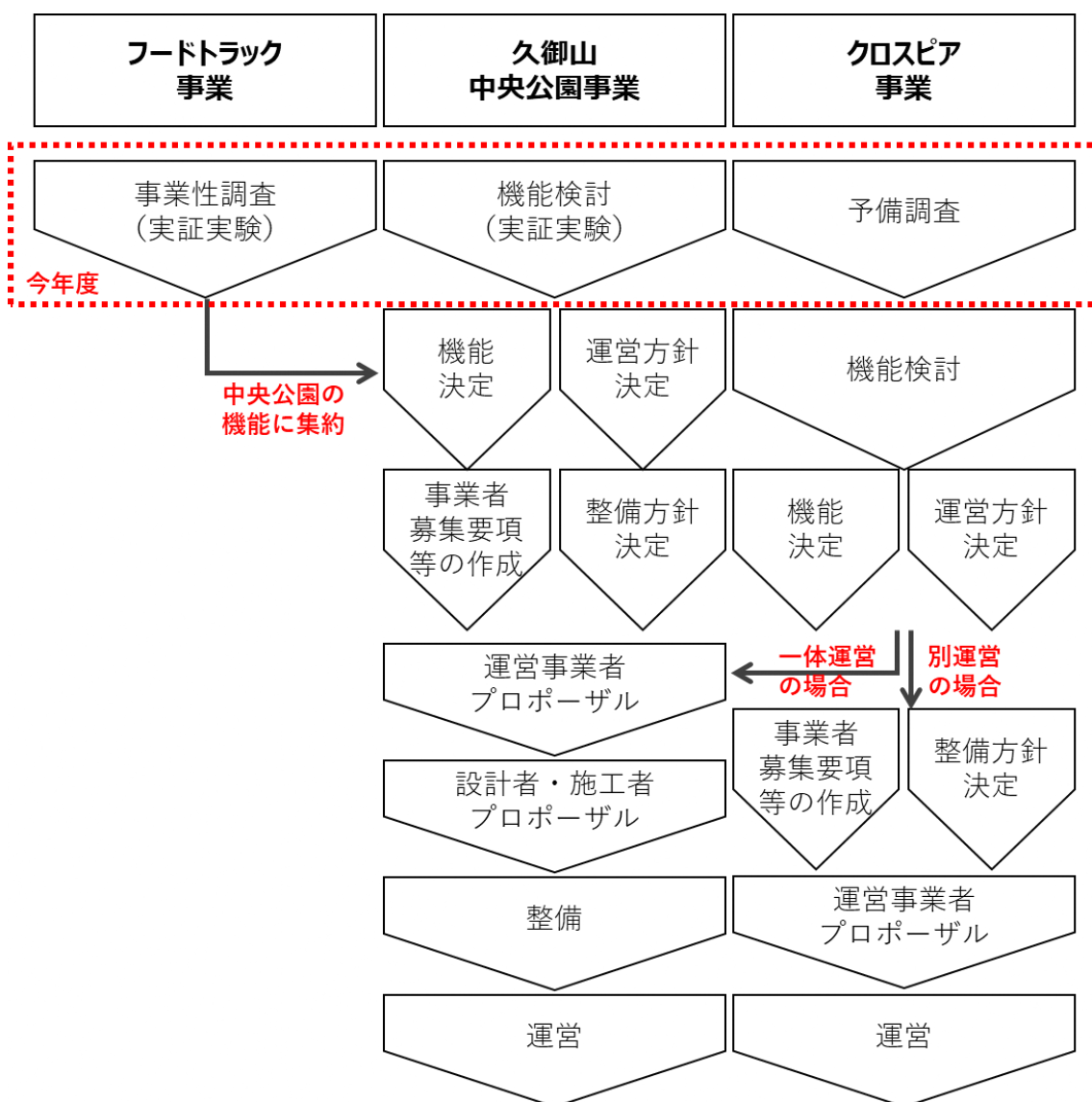
- ・平日のママが集うカフェ
- ・休日家族で賑わう体験教室
- ・天気の良い日には地元産品を味わう BBQ
- ・子供が集まる公園
- ・高齢者の居場所づくり（健康促進）

上記のイメージを元に実証実験での企画及び検証項目を決定する。

③プロジェクトのステップ

プロジェクトのステップを下記に記載する。本調査では実証実験によるフードトラックによるニーズ調査および、久御山中央公園の機能検討などを実施、来年度以降に具体的な運営方針や整備内容の検討を行う。

【プロジェクトステップ】



5. 実証実験の実施

5-1. 実証実験の全体像

工・農・住の目指すべき将来像を実現するため、クロスピア、久御山中央公園の整備・活用や、それと連携したフードトラックを一体的な事業とすることを最終的な事業として仮定する。

その内、必要な要素の洗い出しや事業性の具体的検証のため、特にヒアリングにおいて具体的な仮説が設定できたフードトラック事業については個別に検証を行う（「工業エリアの昼食環境向上検証実験」）こととし、あわせてフードトラック事業とシナジーを生む可能性のある久御山中央公園の利活用の方向性や将来イメージを共有し、今後の具体的な事業を想定するための「久御山中央公園活用検証実験」の、2つの実証実験を分けて行う。

併せて、クロスピアにおいては現状の実態把握のために、利用者アンケート調査及び施設利用状況の整理を行い、課題を抽出する。今後の将来像検討に向けた整理を行う。

また町制 65 周年イベントとして実施される「くみやま夢タワー 137 点灯式」において、これらの実証実験のプレ調査を行う。

【実証実験での検証項目】

1. 工業エリアの昼食環境向上検証実験	2. 中央公園活用検証実験
(1) 目的 ①ランチ提供の必要性の確認 ②フードトラック運用体制の検討 ③フードトラックの事業性の検証 (2) 検証項目 ①需要（販売個数） ②適正価格帯 ③提供メニュー（商品性） ④販売場所（敷地内、道路上） ⑤販売時間帯 ⑥久御山野菜との連携 ⑦運用体制（拠点、調理体制等） (3) 検証方法 ①売上 ②利用者アンケート調査 ③運営状況の確認（内部）	(1) 目的 ①活用方法の検討 ②活用や再整備の周知・イメージ作り ③整備需要の確認と設計内容への反映 (2) 検証項目 ①農業と連携したソフトプログラムの運営検証 ②中央公園での事業性の確認 ③将来的な空間活用の検証 ④利用者特性の把握 ⑤利用者ニーズ（将来）の把握 ⑥現状の空間的な課題 (3) 検証方法 ①売上 ②来場者アンケート調査 ③来場者動線や滞留行動の調査

5-2. プレ実証実験

①実験概要

実証実験を充実させるためには、目指すべきビジョンを幅広く共有するとともに、そのビジョンに共感し、自ら関わりたいと思うプレイヤーの参画を促していくことが有効である。

このため、実証実験の実施に先立ち、久御山町のシンボルである「くみやま夢タワー137」の点灯式において、地元野菜を使用したメニューを提供するフードトラック販売、地元野菜の販売、「久御山町まちのにわ構想」における公園の将来イメージ展示を行い、あわせて公園の利活用や久御山野菜の認知度等について住民等のアンケートを実施した。

【実施内容】

- (1) フードトラックによる久御山町産野菜を使用したメニュー（カレー）の販売
- (2) 地元産野菜の販売
- (3) 公園の整備イメージの模型とパネルの展示

【実施日】

令和元年1月3日（日）15：00～19：30

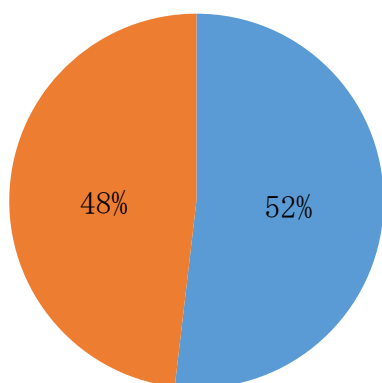
【実施の様子】



②アンケート結果

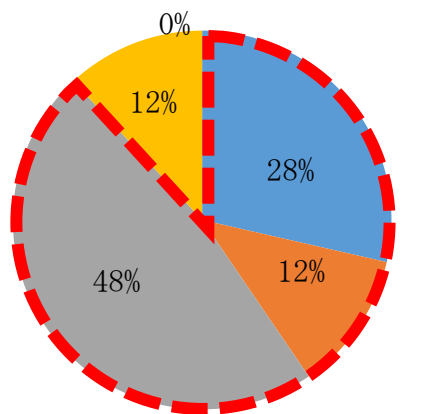
【フードトラックについて】

Q1. フードトラックのメニューは
食べられましたか



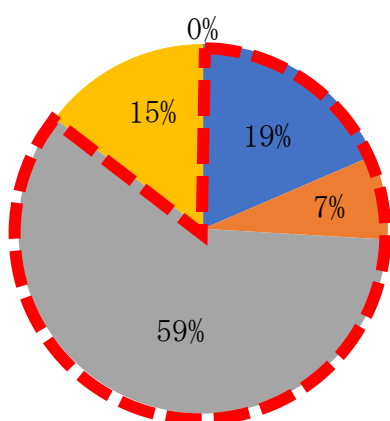
■ 食べた ■ 食べていない

Q2. 価格はいかがでしたか



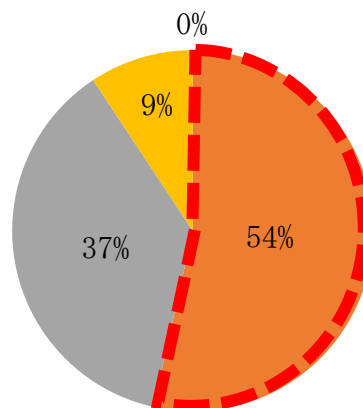
■ 安い ■ 少し安い
■ ちょうど良い ■ 少し高い
■ 高い

Q2-2. 価格はいかがでしたか
(食べたと答えた人のみ)



■ 安い ■ 少し安い
■ ちょうど良い ■ 少し高い
■ 高い

Q3. このようなフードトラックが家または
職場の近くにきたら購入されますか



■ 毎日購入する
■ 週1回程度なら購入する
■ 月1回程度なら購入する

Q1. フードトラックのメニューを購入したのは回答者のうち半数程度
Q2. 価格は適正もしくは安いと回答した人が8割以上
Q3. 週1回程度購入すると答えた方が半数

Q4. どのようなメニューがあると良いと思いますか（自由回答）

■あると良いメニュー

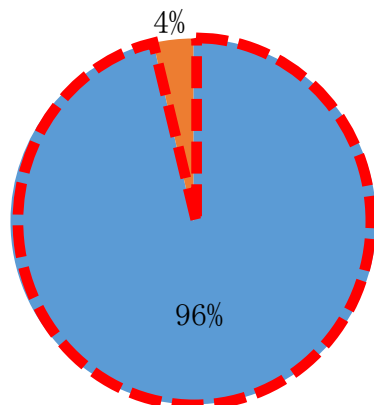
- ・お手軽に食べられるもの
- ・テイクアウト出来るもの
- ・手に持って食べられるもの
- ・子どもが立ったまま食べられるもの
- ・歩きながら食べられるもの

■具体的なメニュー

- ・クレープ
- ・ホットドック
- ・丼系
- ・カレー
- ・やきそば
- ・ピザ
- ・パン
- ・サンドイッチ
- ・たこやき
- 等

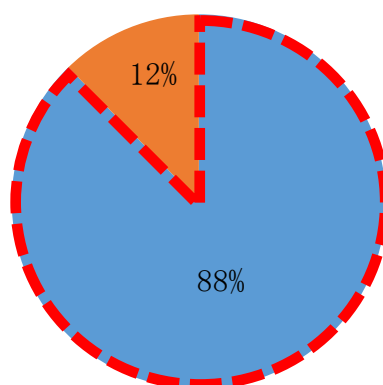
【久御山産野菜について】

Q6.京野菜が久御山町でも
つくられていることをご存じですか



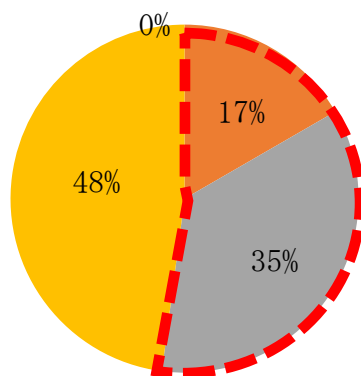
■ 知っている ■ 知らない

Q7.久御山町産の野菜を
購入されたことはありますか



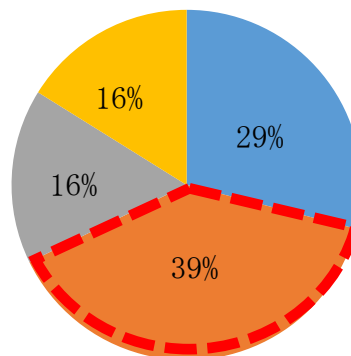
■ 購入したことがある ■ 購入したことが無い

Q8.どのくらいの頻度で購入されていますか



■ 毎日
■ 週1回程度
■ 月1回程度
■ 継続的には購入していない

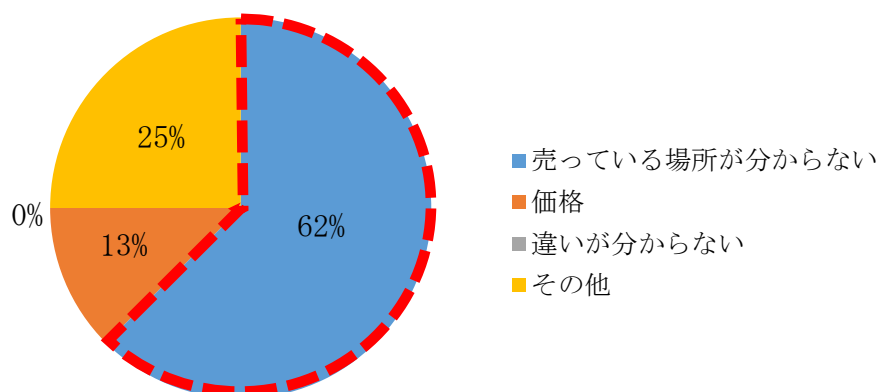
Q9.どこで久御山町産の野菜を
購入されていますか



■ スーパー
■ 旬菜の里（久御山町農産物直売所）
■ クロスピア
■ その他

Q4. 簡単に食べられるメニューが良いという声が多かった
Q6. 久御山町で京野菜が作られていることを知っている方は96%
Q7. 実際に購入されたことがある方も9割弱
Q8. 継続購入されている方は半数程度（内3割強が月1回程度）
Q9. 購入場所は旬菜の里が最も高く4割程度

Q10.購入したことが無い理由は何ですか

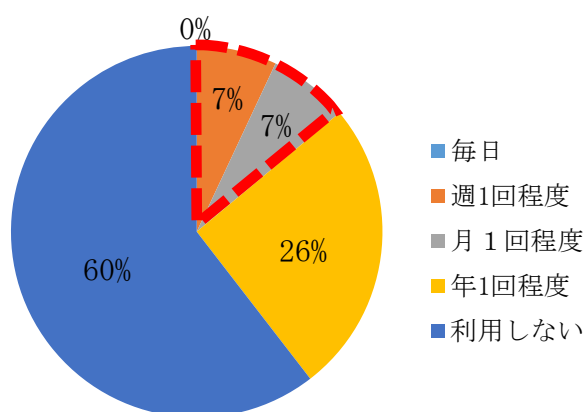


【久御山中央公園について】

Q11. 普段、遊びや散歩、レクリエーションなどで使われている場所はどこですか。（自由回答）

【町内】	【町外】
・久御山中央公園（5） ・地区公会堂 ・イオン ・あいあいホール ・木津川堤防 ・浜茶いこいこうえん 等	・太陽が丘（3） ・ロゴスランド ・八幡運動公園（2） ・田辺市役所 等

Q12.現在久御山中央公園をどのくらいの頻度で利用されていますか



Q10. 購入したことが無い理由は売っている場所が分からないという回答が6割以上
 Q11. 町内は久御山中央公園と答えた方が多かった（19名中7名）
 Q11. 町外は太陽が丘との回答が複数あったものの、ばらばらであった
 Q12. 久御山中央公園はあまり利用されておらず、月1回以上利用される方は15%以下

Q13. (久御山中央公園を) 主に使われる目的と場所を教えてください (自由回答)

【目的】

- ・ イベント (2)
- ・ 親睦会
- ・ 子どもを遊ばせる (1 1)
- ・ テニス (4)
- ・ 荒見園
- ・ 野球
- ・ グラウンドゴルフ (3) 等

【場所】

- ・ 遊具 (2)
- ・ テニスコート (3)
- ・ 大グラウンド (2) 等

Q14. 現在の久御山中央公園の良い所悪い所をお書きください (自由回答)

【良い所】

- ・ 広い (5)
- ・ グラウンドが広い (3)
- ・ きれい (2)
- ・ 近い (4)
- ・ 静か
- ・ 安心 (2)
- ・ 遊具がある (2) 等

【悪い所】

- ・ 草花が少ない
- ・ トイレ (4)
- ・ 薄暗い (2)
- ・ 遊具がない、少ない、古い (9)
- ・ 噴水 (2)
- ・ 駐車場 (5)
- ・ 禁止事項が多い
- ・ イベントがない
- ・ アクセス (3) 等

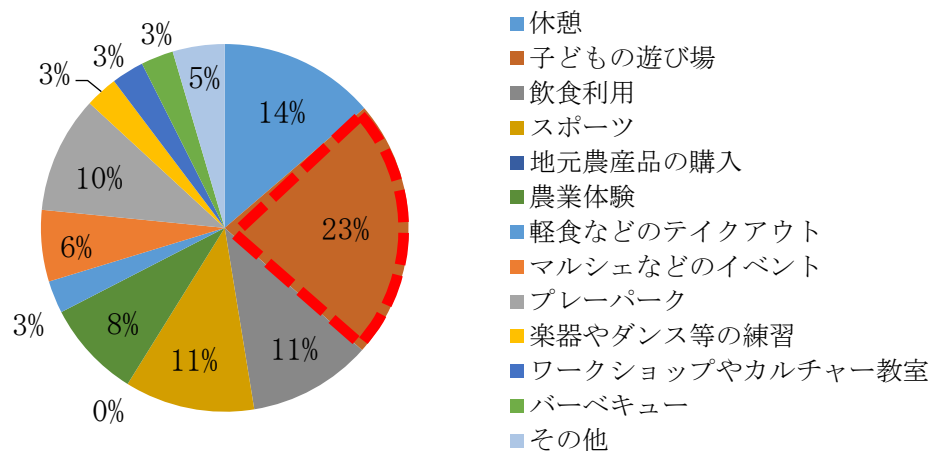
Q15. 整備イメージについてどう思われますか (自由回答)

- ・ 緑豊かで眺望が開けている
- ・ 遊べる場所があるかわからない (2)
- ・ 今よりも良い。お花見が出来ると良い
- ・ 維持費用が掛かりそう (2)
- ・ 良いイメージ (1 2)
- ・ イスが多いと夜が怖い
- ・ 民間が入るのは良い
- ・ 木陰の空間を多くしてほしい
- ・ もっと子供が遊びまわれる方が良い
- ・ 誰でも遊べる場所になる
- ・ 遊ぶ所とスポーツする所を分けて欲しい
- ・ 遊ぶところがない、遊びにくそう (2)
- ・ カフェが良い (2)
- ・ 遊具が欲しい
- ・ 何もない芝生の広場が欲しい (2)

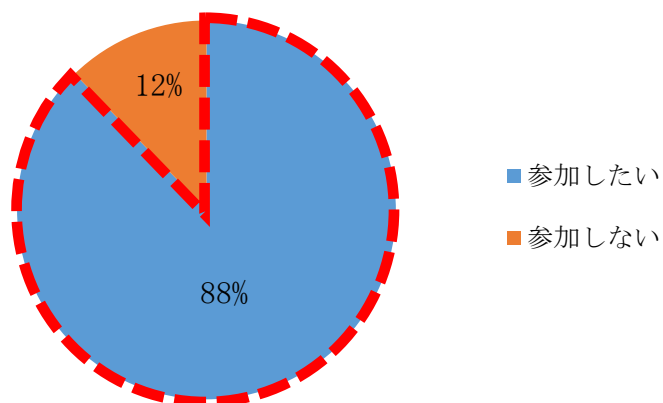


Q13. 久御山中央公園に来る目的は子供を遊ばせるが最も多かった
 Q14. 良い所は広い所、悪い所は遊具に対する不満が最も多かった
 Q14. 駐車場やアクセスに対する不満も多かった
 Q15. 良いイメージを持たれた方が多かった
 Q15. 遊具などの子どもが遊べるスペースを希望する声も多かった

Q16.将来の公園はどのような使い方が出来るといいですか（複数回答可）



Q17.今後公園でマルシェや体験教室などのイベントが行われたら参加したいと思いますか



Q16. 将来希望する使い方として最も多かったのは子どもの遊び場で、続いて休憩、飲食
スポーツ利用という順になった
Q17. イベントへは8割以上の方が参加したいという結果となった

5-3. フードトラック実証実験

①実験概要

「農業と工業」を結ぶハブの構築可能性を検討するため、その具体的な手法として、フードトラックによる昼食提供の可能性を検証する。

まずは、工業団地に所在する事業所やその周辺及び農業者に対し、久御山野菜をふんだんに用いたランチ BOX を提供し、フードトラックの事業としての実現可能性や工業エリア等における昼食環境の向上に向けた効果を検証する。

【実施概要】

(1) 内容

- ・工業エリア内へフードトラックを使用してランチを提供する。
- ・ヒアリングで需要があるという回答があった企業及び周辺を対象とする。
- ・各箇所2回の実施を基本として、1回目と2回目で一部メニューの変更を行う。
- ・事前予約も受け付け、一部では完全予約制での販売とする。
- ・メニューには久御山産野菜を使用する。

(2) 実施スケジュール

週2回（カ所）×2回の4カ所を1クールとして、各カ所2回実施

■ 1クール目

- 1週目：1月15日（水） 11時20分～13時00分
1月16日（木） 11時30分～13時00分
- 2週目：1月21日（火） 11時30分～13時00分
1月22日（水） 11時30分～13時00分

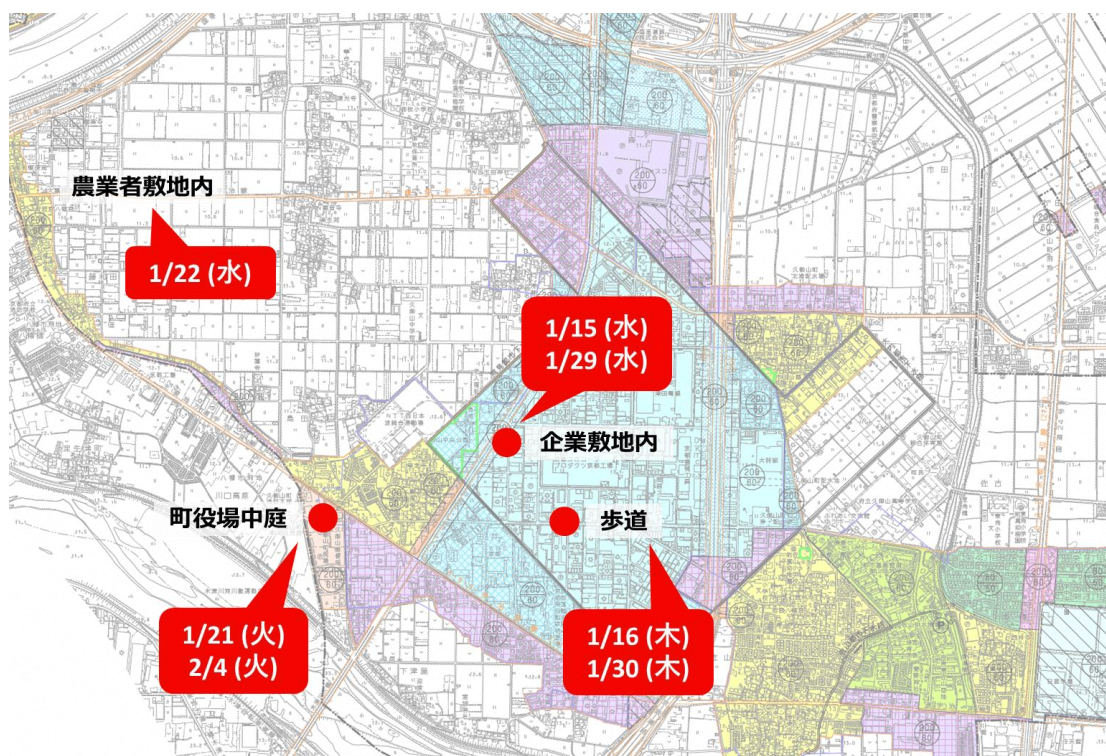
■ 2クール目

- 3週目：1月29日（水） 11時20分～13時00分
1月30日（木） 11時30分～13時00分
- 4週目：2月 4日（火） 11時30分～13時00分

(3) 実施場所

実施場所は下記の4カ所とし、そのうち④に関しては完全予約での販売。

- ア 工業エリア内企業敷地内
- イ 工業エリア内歩道
- ウ 町役場中庭
- エ 町内農業者敷地内（完全予約制）



ア 工業エリア内企業敷地内



イ 工業エリア内歩道



ウ 町役場中庭



エ 町内農業者敷地内



(4) 販売メニュー

【各日共通メニュー】

フォカッチャサンドのランチセット 600円

(鶏ハムとオニオンマーマレードとラペを挟んだフォカッチャサンド、コロケッタ、サラダ、野菜丸ごとスープ)

【前半メニュー】

小松菜のスパイスカレー&林檎と玉葱たっぷりのマサラカレーのあいかけランチセット 800円

(あいかけカレー、サラダ、スープ)

【後半メニュー】

ロコモコランチセット 800円

(ロコモコ、自家製ラペ、野菜丸ごとスープ)

各日共通メニュー



前半メニュー



後半メニュー



(5) 広報

- ・販売内容を記載したチラシを作成し、実験協力企業へ事前に送付。
- ・出店場所の近隣企業へも個別に配布。
- ・販売時に次回告知としてランチボックスに入れて配布。
- ・当日はA型看板を設置してメニューを告知。

配布チラシ

久御山 “まちのにわ” 構想

久御山野菜で美味しいお昼を。

久御山で採れた野菜を詰め込んだフードトラックを走らせます。各販売場所2回ずつ期間限定の販売になりますので是非皆さんご賞味ください！



1/13週、1/20週のみ！

小松菜、カブ、人参、米などに久御山野菜を使用！

小松菜のスパイスカレー＆林檎と玉葱たっぷりのマサラカレーのあいがいけランチセット
800円

あいがいけカレー、サラダ、スープのセット。
久御山の小松菜をたっぷり使ったスパイスカレーとマサラカレー、2種の味をお楽しみいただけます。

1/27週、2/3週のみ！

フォカッチャサンドのランチセット
600円

鶏ハムとオニオンマーレードとラペを挟んだフォカッチャサンド、コロケッタ、サラダ、野菜丸ごとスープのセット。

ロコモコランチセット
800円

ロコモコ、自家製ラペ、野菜丸ごとスープのセット。
地元で採れた野菜をたっぷりトッピング

人参、水菜、キャベツなどに久御山野菜を使用！

【販売場所マップ】



1/21 (火) 2/4 (火) 11:30-13:00
久御山町役場 中庭

1/15 (水) 1/29 (水) 11:20-13:00
COTA 雑居地内

1/16 (木) 1/30 (木) 11:30-13:00
飯村機械製作所 様 SCREEN 様

【アンケートのお願い/今後の予定】

本事業は、久御山 “まちのにわ” 構想に基づき実施する実証事業です。
フードトラック事業について、ご協力いただける事業者様において、購入された方、購入されなかった方にも簡単なアンケートを実施したいと考えておりますので、ご協力のほどお願いいたします。

なお、いただいたアンケートの結果は、久御山町で取りまとめた上、今後のフードトラック事業の実現可能性検証、その他昼休みの環境改善に向けた取組に活用していきます。

主催：久御山町 事業建設部 都市整備課 販売事業者：社会福祉法人 南山城学園 協力：有限会社ハートビートプラン
問い合わせ先：075-631-9961（久御山町 事業建設部 都市整備課）

設置看板



(6) 実施の様子

ア 工業エリア内企業敷地内

- ・事前に全社員への案内を実施頂いた。
- ・また、事前予約も取って頂いたため販売数をおおよそ予測することが出来た。
- ・当日も部署ごとに時間帯をずらして購入してくれたことにより提供にも大きな問題は無かった。



イ 工業エリア内歩道

- ・隣接する企業には告知の協力を依頼した。
- ・チラシを社員へ送付や社内掲示という形で協力頂いた。
- ・1回目の購入がほぼ告知の協力を依頼した企業の方のみだったため、2回目の実施の前に近隣のその他の企業にもチラシを配布した。
- ・その結果、2回目は販売数が増加した。



ウ 町役場中庭

- ・事前に庁内へチラシを配布した。
- ・事前予約も取って頂いたため販売数をおおよそ予測出来た。
- ・当日は12時から一斉の購入だったために順番待ちの列が出来たが、事前に準備して保温しておくなどしたため、待ち時間は少なく提供が出来た。
- ・また、予約外でも来庁した方の購入が多かった。



エ 町内農業者敷地内（完全予約制）

- ・その他のエリアとは異なり、完全予約制で実施した。
- ・提供も問題無く行うことが出来た。



(7) 販売数

ア 1 クール目

日時：1月15日（水） 11時20分～13時00分

場所：工業エリア内企業敷地内

販売数：合計81食販売（内予約73食）

カレー53食（内予約51食） フォカッチャ28食（内予約22食）

日時：1月16日（木） 11時30分～13時00分

場所：工業エリア内歩道

販売数：合計34食販売（内予約0食）

カレー26食（内予約0食） フォカッチャ8食（内予約0食）

日時：1月21日（火） 11時30分～13時00分

場所：町役場中庭

販売数：合計87食販売（内予約61食）

カレー60食（内予約43食） フォカッチャ27食（内予約18食）

日時：1月22日（水） 11時30分～13時00分

場所：農業者敷地内

販売数：合計38食販売（内予約38食）

カレー19食（内予約19食） フォカッチャ19食（内予約19食）

イ 2 クール目

日時：1月29日（水） 11時20分～13時00分

場所：工業エリア内企業敷地内

販売数：合計76食販売（内予約65食）

ロコモコ61食（内予約57食） フォカッチャ15食（内予約8食）

日時：1月30日（木） 11時30分～13時00分

場所：工業エリア内歩道

販売数：合計47食販売（内予約4食）

ロコモコ36食（内予約4食） フォカッチャ11食（内予約0食）

日時：2月4日（火） 11時30分～13時00分

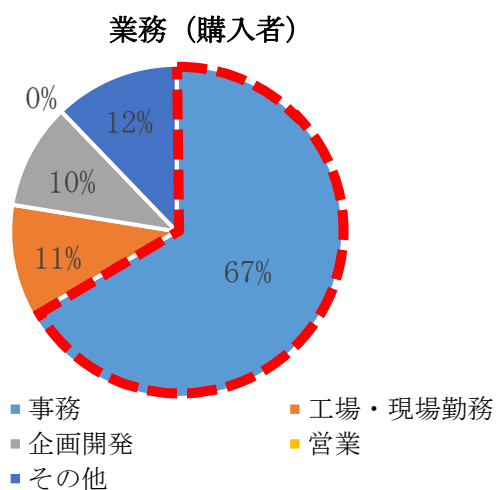
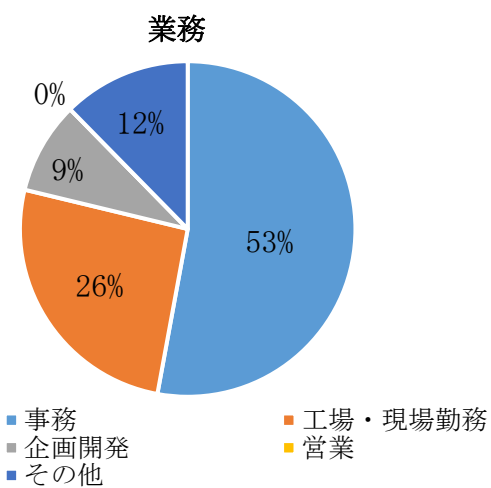
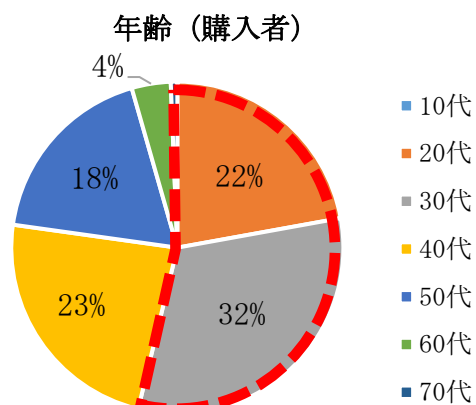
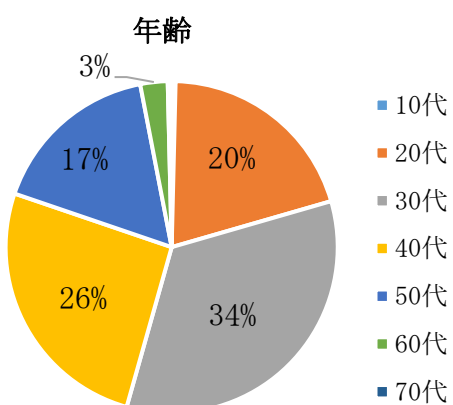
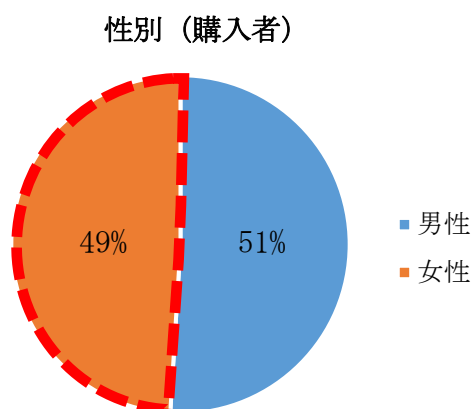
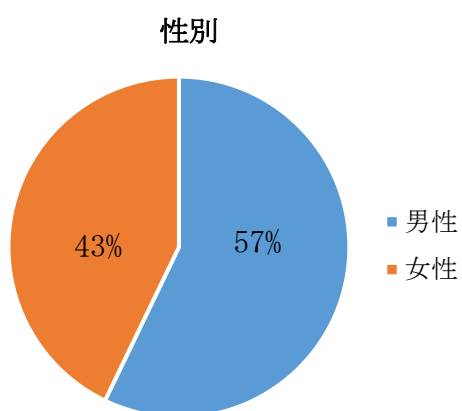
場所：町役場中庭

販売数：合計93食販売（内予約66食）

ロコモコ73食（内予約58食） フォカッチャ20食（内予約8食）

②実施結果

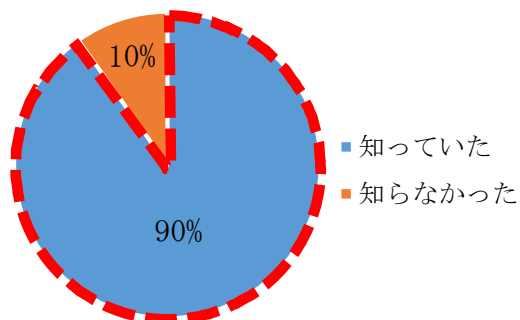
【属性】



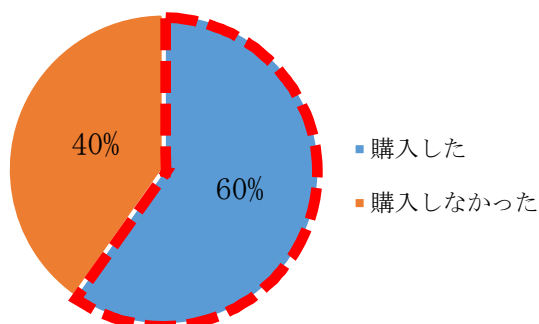
- ①回答者と実際に購入して人を比較すると女性の購入率が男性よりも高い結果となった
 ②購入者は20～30代で5割以上となり、事務の方の購入が多い結果となった

【アンケート結果】

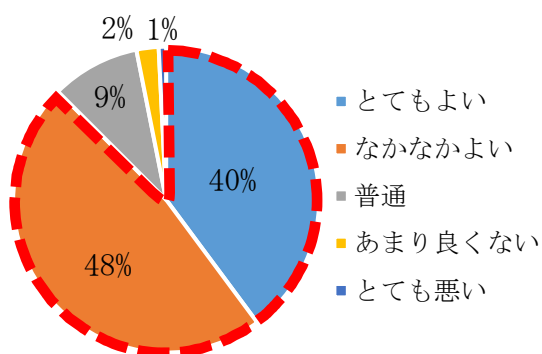
Q1. 今回、フードトラックが来ることを
知っていましたか



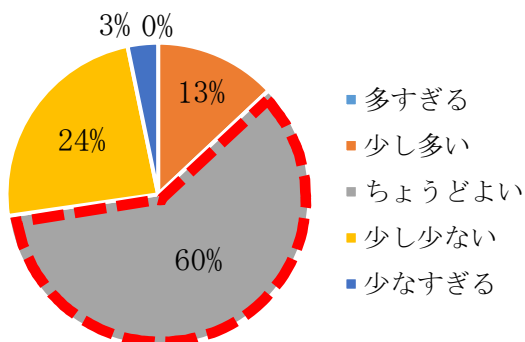
Q2. フードトラックのメニューは
購入されましたか



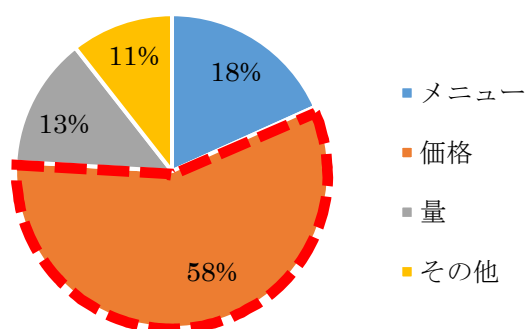
Q2-2-2. 味はいかがでしたか



Q2-2-3. 量はいかがでしたか



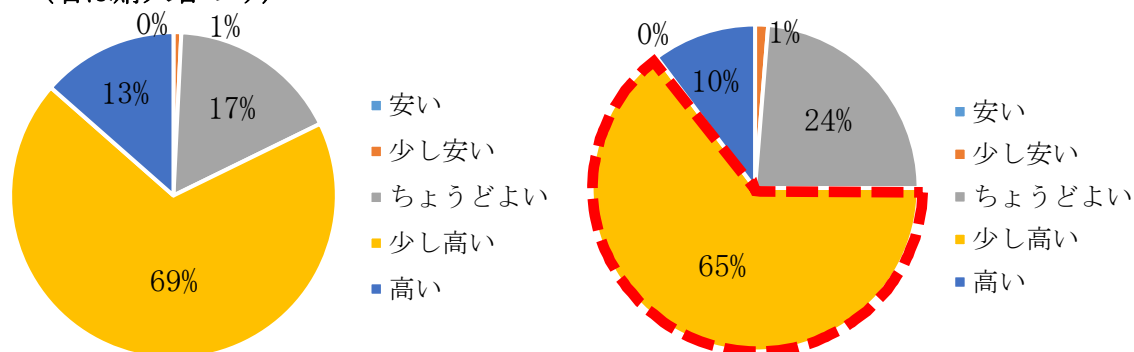
Q2-3. 購入されなかった理由について
教えてください。



Q1. フードトラックが来ることを事前に知っていた方は9割程度という結果となった
Q2. アンケート回答者のうち、実際に購入した方は6割程度となった
Q2-2-2. 味は9割近くの方が良い（とてもよい、なかなかよい）と回答
Q2-2-3. 量もちょうど良いが6割という結果となった
Q2-3. 購入されなかった方の一番の理由は、価格で6割弱という結果となった

Q3. 価格やメニューについて教えてください

(右は購入者のみ)



Q3-3. あったら良いメニュー (自由回答)

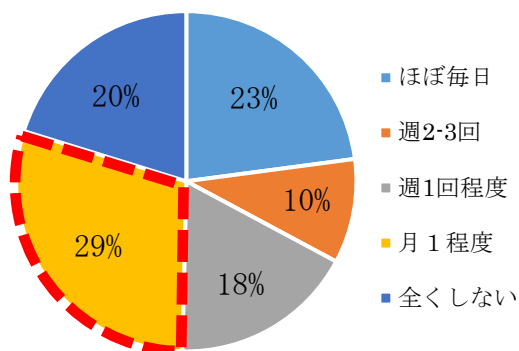
和食 (11)	日替わりランチ
中華料理 (4)	単品 or セット (5)
エスニック料理 ベトナム料理、タイ料理 (2)	あったかいお弁当的なもの
メキシコ料理	包装物を少なくする
お手頃値段 (6) 丼ぶり系 (10)	食べやすいもの (2)
ガッツリの肉系 (2)	栄養バランスの取れたメニュー (4)
ボリュームのあるもの (5)	色々なスープのメニュー (4)
シーフード系 (2)	普段食べられないようなメニュー
フライ系	季節感を感じられるメニュー
洋食系	お米を使ったメニュー
定食系	アボカドを使ったメニュー
ジャンクフード系	少量メニュー
麺類 (8)	低カロリーメニュー
デザート類 (5)	サラダ系 (16)
惣菜弁当 (2)	

具体的メニュー

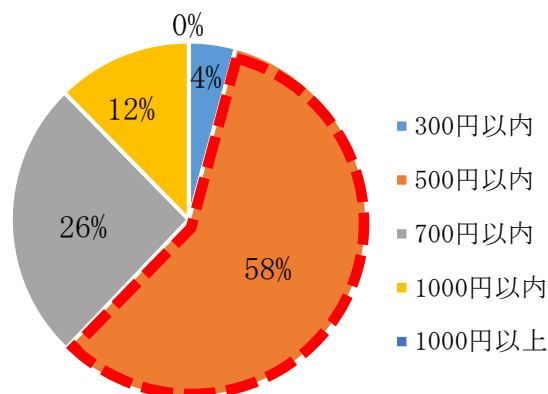
サンドイッチ (9)	タコス	おにぎり (2)
パスタ (11)	ナチョス	ピザ (2)
ハンバーガー (10)	フォー	とんかつ (2)
カレー (5)	ケバブ	ガパオライス
チキン南蛮 (4)	フランクフルト	トムヤムクン
オムライス (4)	焼きそば	ガーリックシュリンプ
ホットドッグ (3)	お惣菜	ブリトー
コーヒー (2)	魚のムニエル	リゾット
タコライス (2)	チキンオーバーライス	クレープ
フライドポテト (2)	煮物	トルティーヤ
ピラフ	ドリア	パウンドケーキ
サラダ巻きのお寿司	グラタン	

Q3. 価格についての印象は購入者では少し高いが 65%となった
 Q3-3. サラダや和食を求める声が多く、栄養バランスを取りたいという方も複数見られた
 Q3-3. 具体的なメニューではパスタやハンバーガーなどが多かった

Q4.昼食時に外食や外での弁当購入の
機会はありますか



Q4-2.その際の予算はいくら
くらいですか

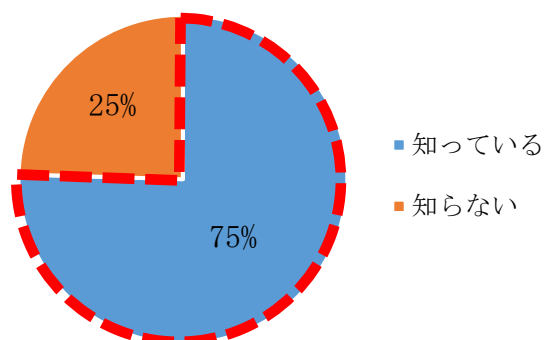


Q5. 昼食や昼休みの過ごし方、周辺環境への希望（自由回答）

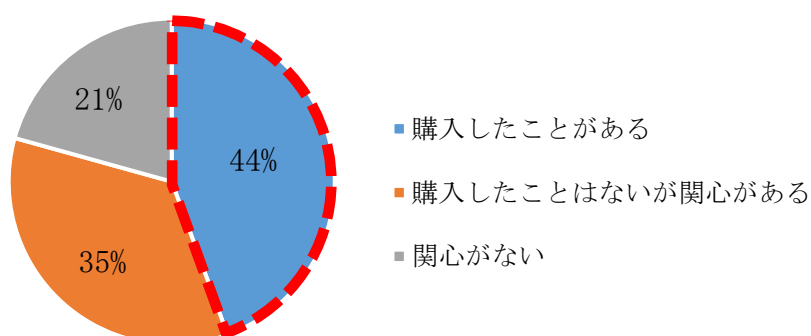
- ・女性でも**気軽に入れる**ご飯屋さんやコンビニが近くにもっと欲しい。
- ・**温かい栄養バランスのいいもの**が食べたい。周辺にラーメンなどしかないで女性はある。
- ・手軽に**お酒落なランチ**を楽しみたい。
- ・もう少しカフェなどがあると行きたい。
- ・フードカーが来てくれると嬉しい。
- ・周囲に飲食店がほとんどなく、コンビニもしくは仕出し業者のお弁当が多いためどうしても**メニューに飽きてくる**。
- ・歩いて行ける距離に美味しいパン屋さんが欲しい。
- ・ランチできるところかフードトラックなど、**食べる環境を増やして欲しい**。
- ・工場地帯で外に出て何もないので、何かあれば嬉しい。
- ・周辺に食べる場所が少ないので、こういう取り組みが嬉しい。
- ・お店が少ないので**会社の弁当以外に選択肢**があると飽きない。
- ・会社内にランチを取れるスペースが少ないこと、近くに公園なども無いことから、車で過ごすことが多い。**周辺地域に憩える場所があれば良い**。
- ・外で食べられるベンチや散歩コース等有れば良い。
- ・もう少しお店があれば良い。
- ・弁当を持参しているので、昼食場所をつくって欲しい。
- ・さっと**食べて休める環境**が欲しい。
- ・予約なしで**気軽に運動できる環境**が欲しい。
- ・ゴミ箱がないので回収ボックスを設置して欲しい。
- ・配達があれば便利である。

Q4. 外食や外で弁当購入されている頻度は月1回が最も多く、次いでほぼ毎日と続いた
Q4-2. また外食や外で弁当購入する際の予算は500円以下が6割弱という結果となった

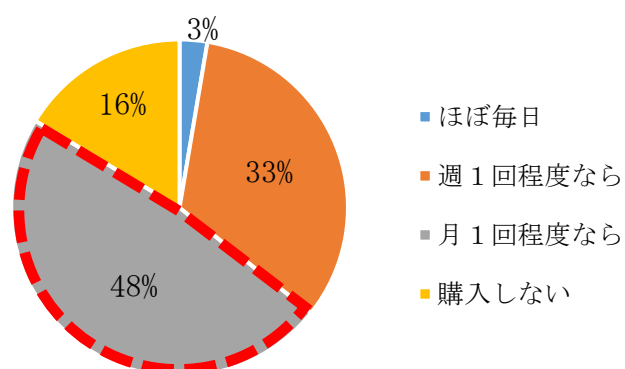
Q6. 京野菜が久御山町でもつくられていること
をご存知ですか



Q7. 久御山町産の野菜を購入されたことはありますか
したいと思いますか



Q8. このようなフードトラックが家または
職場の近くにきたら購入されますか



Q6. 久御山町産の京野菜の認知率は 7 割超であった
Q7. 購入したことがある人は 4 割程度に留まった
Q8. フードトラックの購入頻度は月 1 回がもっとも多く 5 割弱、週 1 回は 3 割程度とい
う結果となった

③まとめ

■出店場所について

- ・COTA・町役場では相当数の売り上げ。特定企業との連携による出店は告知がしやすく定期的な売り上げを見込むことが可能。
- ・敷地内出店の場合には、他の企業の従業員が買いにくいという難点はあるが、事前の告知や慣れによってハードルを下げることは可能。
- ・歩道上の出店は、広く購入者を集めることが出来る可能性はあるが、現時点では所轄警察署より定常的な許可は不可との指摘。

■売上を上げるための施策

- ・周辺企業への事前告知は一定の効果。
- ・連携企業に対しては従業員個別にリーチできる告知（メール等）は高い宣伝効果。
- ・定期的な場所、日時での出店により意識付けすることも重要。

■メニュー・価格について

- ・今回のメニューは概ね好評。希望メニューは多岐に渡るため質が高ければ特定のメニューにこだわる必要は無いと考えられるが、飽きさせない工夫は必要。
- ・一方で栄養バランスや野菜を求める声は一定数あり、それらを組み込んだメニュー開発は必要。
- ・購入されなかった理由の第一位は価格であり、購入者からも少し高いという意見が多かった。但し、週1～月1回程度であれば購入するという意見が多かったため、その購入回数で事業が成立すれば価格は現状維持。
- ・大盛りを希望する声も多く、いくつかのオプションメニューも検討。
- ・久御山野菜はなじみがある人が多く、アドバンテージになりにくい。量を増やす、分かりやすく見せるなどインパクト面での工夫が必要。

■運営について

- ・事前の仕込みが必要なため調理場の確保は必須。
- ・ロス削減や一定の売り上げ確保のために予約の受付は有効。
- ・今回は2名による販売であったが購入者が増えるとサポートが必要な状況。事前にパッケージして保温などで対応し、なるべく必要人員を少なくすることが必要。
- ・サラダ、スープなど個別での包装は雰囲気もあり良いが、ゴミやセットアップの時間の問題もあり要検討。

■販売数・売り上げについて

- ・今回は 100 食近い売り上げがあったが、日常化した場合には落ち込むことが想定されるため、一旦の想定として 3 割～4 割程度下げることと考え、50 食/日程度の提供を想定。

※この場合 50 食×800 円=40,000 円/日程度の売り上げ（利益は 3 割程度と見込むと 12,000 円/日）

- ・販売回数はアンケートより週 1 ～月 1 回が現実的なため、月 2 回程度と想定。
- ・上記からフードトラック単体での事業成立は難しいため、実店舗など他事業との両立が現実的。

【フードトラックの方針】

- ・企業と連携を行い、民間敷地内での出店を模索。
- ・売り上げ面、調理やロス削減などの運営面から実店舗＋フードトラックの事業構成を検討（拠点の必要性）。
- ・連携先は 2 週間ピッチであれば 10 社程度必要（実店舗営業との兼ね合いによる）。
- ・認知向上のために場所、日時は固定。
- ・配食など完全予約型での提供も検討。
- ・フードトラックの確保は課題。新たなフードトラックの手配を検討。

5-4. 久御山中央公園活用実証実験

①実験概要

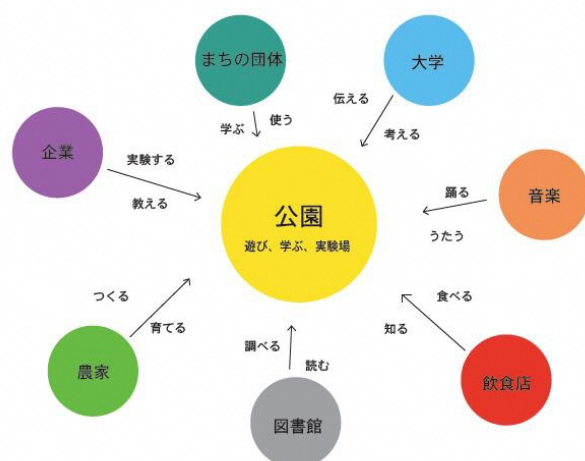
久御山中央公園を、久御山町ならではの「産業と暮らし」をつなぐハブとして活用していく可能性を検討する。

ただし、先にハード整備の計画を固めるのではなく、まずは目指すべきビジョン・空間イメージを暫定的に具現化し共感を得られるか確認をするとともに、将来像の実現に向けて自ら参画するプレイヤーの巻き込みを先行させることで、より活用される空間を実現させることができる。

このため、久御山中央公園活用実証実験においては、久御山中央公園の通路及び芝生広場を中心に出店を行い、ベンチ等によって滞留空間を設けるとともに、3週間の会期中に、ガーランド制作ワークショップを開催し、参加者が作成したガーランドを次回以降に設置することで、公園を彩る要素となり、参加者みんなで空間をつくりあげていくことをめざす。特に、公園中央部に整備された噴水について、現在稼働していない実情も踏まえ、人が滞在できるデッキを貼ることで動線や滞在の中心を仮設で構築し、活用可能性を検討する。また、イベントを開催するごとに、人が関わり徐々に空間が出来上がっていくことで、久御山中央公園への興味を深め、今回の整備計画への関心を高め、この成果をハード整備やその手法の具体化にも生かしていくことを目指す。

【実証実験のコンセプト】

まちのがっこう ～みんなで学び、みんなで作る、まちの公園～



ここにしかない学び

地域の企業や団体、農家さんや施設などと、公園を舞台と一緒に学んで、公園と一緒につくろう！

これからの公園は、与えられるものではなく、一緒に考えてみんなでつくる場所。どんな公園がいいか、食べたり飲んだり、ワークショップしたり歌ったり踊ったり、いろんな世代の人と楽しく考えるきっかけづくりに。

遊びに来る人も、出店してくれる人やお店や団体も、これからの中央公園を考え、関わってもらいたいと思います。

